

ヒズメット運動の核となる価値観

ヒズメット運動は、平和裏に共存し人類に奉仕するという理想に取り組む市民社会運動であり、社会的責任と慈善活動の枠組みの中で活動しています。この運動は利他的なボランティア活動の概念を軸に据え、活動面においては教育、対話、人道支援に特に重きを置いています。これは、宗教、社会、文化的多様性を包摂し、イスラームと普遍的な人道的価値観に着想を得た平和的な運動です。

「この行動指針の取りまとめは将来性を期待させる良いものとなったと思います。私は、ヒズメット運動の参加者がこうした中核的価値観に強く結びつきつつ、他者を生かすという志向を持ち、神のご満悦を目的とした活動を行うことで、平和と安寧に包まれたより生きやすい世界の構築に重要な役割を果たしていけると信じていますし、希望を抱いています。この活動に貢献した人々に神のご加護がありますように。」 - フェトゥッラー・ギュレン

ヒズメットのビジョン

ヒズメット運動の参加者は、以下のような社会の実現を目指しています。

- すべての人間が尊厳をもって扱われ、ありのままの自分が受け入れられる社会
- 人権が保障され、基本的人権に矛盾しないあらゆる種類の多様性が豊かさともみなされる社会
- 人類の諸問題に敏感である社会
- 異なる宗教、文化、世界観を持つ人々が対話し、互いに共感し合う社会
- 分かち合いと連帯を大切にする社会
- 人々が平和と調和の中で暮らす社会

ヒズメット運動の参加者は、こうしたビジョンを共有する様々な個人や団体と協力します。

基本的価値観

01 人間と基本的人権の尊重:

ヒズメットの参加者は、すべての人間には生まれながらの価値が備わっており、誰もが尊厳をもって扱われるべきであると信じています。すべての人は人間として平等であり、法の前の平等を享受します。そして誰かが他の人より優れているということはありません。ヒズメット運動の参加者は、国連の世界人権宣言に明言されているすべての人権と自由を支持します。社会正義と機会均等は人々の平等における必要条件です。

02 法の支配の尊重:

ヒズメットの参加者は法の支配を尊重します。いかなる個人も法を超越した存在とはみなさず、人間の尊厳の保持に配慮しながら、普遍的な法原則および居住国の法律の枠組み内で行動します。彼らは、居住国の基準を満たす透明性と説明責任を果たしながら組織を運営します。

03 平和的かつ積極的な行動:

ヒズメットは平和的な運動です。ヒズメットの参加者は暴力を政治的手段として使うことを拒否しています。前向きで建設的な行動を好み、敵意に駆られた破壊的な行動は認めません。

04 女性の社会的地位向上の促進:

ヒズメットの参加者は、女性に平等な機会が与えられ、差別なく社会のあらゆる場面に貢献できるという理想を掲げ、あらゆる活動においてこの理想を達成するよう努めています。

05 倫理的行動:

ヒズメットの参加者は、活動にあたって倫理規範と道德律の両方に注意を払い、誠実さ、信頼性、他者に害を与えないこと、公平性などの基本的な倫理原則を遵守します。彼らは、合法かつ正当な目標は、合法かつ正当な手段を通じて達成されるべきだと信じています。

06 多様性、多元性、信条の尊重:

ヒズメットの参加者は、基本的人権に反しない限り、集団的および個人的な多様性を豊かさとしみなします。彼らは、信念、宗教、文化の神聖さの違いから生じ得る争いを避けるにふさわしい態度をとります。

07 自発的な参加と利他主義:

ヒズメットのボランティア活動に参加するか離れるかは完全に個人の選択に委ねられています。ヒズメットの参加者は、自分のできる範囲で寄付やボランティア活動を通じて、自分たちの価値観を具現化し、人類の発展に利するプロジェクトに貢献することができます。

08 協議と共有された知恵:

ヒズメットの参加者は、様々な視点や意見の交換を通じて共有された知恵を最大限に活用します。

09 市民性と独立性:

ヒズメットは市民社会運動であり、独立して活動しています。何らかの国家や政治団体の延長ではありません。ヒズメットの参加者は、民主主義的価値観の内面化、積極的社会参加を重視し、ヒズメットの参加者個人の政治的選択を尊重します。宗教を政治的イデオロギーにすり替えたり、政治の道具にしたりすることには反対します。

10 市民的関与と社会への貢献:

ヒズメットの参加者は、社会に貢献し、社会問題の解決に寄与することが社会的責任であると考えています。自分たちを人類という大きな家族の一員とみなし、人間社会全体の問題に敏感であり、人類に奉仕することを目指しています。

11 環境の保護:

ヒズメットの参加者は、あらゆる生態系を含むこの地球を、将来の世代のために保全しなければならない遺産であると考えており、環境の保護に努めています。

12 人間性に対する全体的な見方（身体と精神の一体性）:

人間は物質的存在であると同時に精神的存在でもあります。ヒズメットの参加者は、人類のこの二つの次元における必要を満たし、物質的、精神的な存在である人間の発展のために、理性や科学的研究と共に、精神的規律が活用されることが大切だと考えています。

ヒズメットの価値観の実践、 体現について

01 教育:

ヒズメットの参加者は、教育を社会の発展、平和、機会の平等、社会正義を達成する手段として捉えています。こうした目標の達成に向けて、学校、大学、学習指導センター、学生寮の設立や、各種コース、セミナー、週末学校、放課後プログラムの実施といった様々な教育活動を展開しています。教育プログラムは居住国の教育カリキュラム基準にのっとり構成され、自然科学、社会科学、人文科学、芸術、スポーツ、言語指導などの多岐にわたります。社会のあらゆる層の人々の教育活動への参加を積極的に推進しています。

02 精神的育成と向上:

ヒズメットの参加者は、運動の価値観の枠組みの中で、非公式教育の形で個人の精神面の向上のための集会、セミナー、パネルディスカッション、指導プログラムなどの宗教および精神的、社会的、文化的活動の機会を設け、支援します。

03 社会における対話と平和:

ヒズメットの参加者は、社会平和の確立や、社会の内部における相互理解および異なる社会同士の相互理解を促進すること、共感力を養い、すべての人をありのままに受け入れる態度を獲得することを目的として、異なる宗教、人種、伝統、文化、世界観を持つ人々の間における対話とコミュニケーションと交流の基礎となる活動を計画、実行します。

こうした活動には、シンポジウム、パネルディスカッション、セミナーなどの学術イベントや祭り、旅行、家族の集まりなどの文化的イベント、共同の祈りやイフタールプログラムなどの精神的なイベント、人道支援活動などの社会的責任プロジェクトが含まれます。

04 人道支援と社会福祉への貢献:

ヒズメットの参加者は、人類への奉仕を社会的責任ととらえると同時に精神修養ともみなしています。人道支援プロジェクトを通じて、自然災害、戦争、貧困に直面している人々に食料と宿泊のサービスを提供したり、ボランティアの医療専門家のネットワークを通じて必要としている人々に医療サービスの提供を行います。彼らは人道支援と社会的責任プロジェクトを自律的に実施できるよう計画し、持続可能な開発プロジェクトの組織、支援を行います。

05 文化と芸術:

芸術と文化活動は世界共通言語として、社会内および社会間のコミュニケーション、平和、調和に貢献します。また、それらは個人の才能や能力の開花と発現の契機でもあります。そのため、ヒズメットの参加者は、芸術教育、芸術パフォーマンス、言語および文化フェスティバルなどの活動を企画し、支援しています。

06 出版物:

非公式教育の手段として、ヒズメットの参加者は、社会平和、心と思考の統一、環境保護意識などの普遍的な人間の価値観を促進し広めるための雑誌、書籍等を出版します。

ヒズメット運動の 歴史的背景

1960年代に、トルコ社会は貧困、機会均等の欠如、武力衝突に発展する政治的二極化など多くの社会的困難に見舞われていました。このような状況を背景に、イスラーム学者で知識人のフェトゥッラー・ギュレン氏は友人たちとともに、青少年を暴力や有害な習慣から守り、高等教育やキャリアの機会を提供する取り組みを始めました。科学、民主主義、社会の多様性への学びを通じて、現代において信仰を持ちながら生きることができる環境を提供することを目的とした非公式及び公式の教育活動を開始したのです。当初は大学生向けの住宅、奨学金、学生寮、大学準備コースなどの教育活動のビジョンを共有するボランティア・グループにより行われていた活動が、後にヒズメット運動へとつながりました。

ヒズメットは時間の経過とともに、個人の尊厳に対する尊重、すべての人をありのままに受け入れること、人類に奉仕し、教育を通じて社会問題の長期的な解決策を見出すことといった、イスラームの伝統や普遍的な人間の価値観に備わる概念によって形作られた社会運動へと発展していきました。

この運動は当初、教育に焦点を当てていましたが、参加者は徐々に、異なる宗教的または民族的アイデンティティ、政治的見解や思想を持つ各社会階層の間の緊張と偏見を軽減し、共に生きる文化を育むことを目的とした対話や知的会合、さらには社会的責任プロジェクトに取り組むようになりました。

2000年代に入ると、人道支援プロジェクトが重要視されるようになり、運動の参加者はトルコや世界中で起きた多くの自然災害の被災者を支援するために駆けつけました。一部の地域では、参加者は災害支援にとどまらず、診療所、学校、井戸、職業訓練コースなどの恒久的なプロジェクトを実践してきました。

教育プロジェクトを通じて、この運動はトルコの国境を越えて世界に広がり始めました。運動の開かれた包括的な姿勢により、さまざまな民族、宗教、文化的背景を持つ人々の参加が可能となり、より多様な参加者が集まるようになりました。

同時に、ヒズメットの参加者は活動する国で文化を通じた交流を行いました。これによって自然と、異なる優先順位と活動方法を備えた、ヒズメット運動の地域ごとの表現や構造が形成されました。運動の参加者は、この多様化を自分たちの核となる価値観の枠組みにおいて豊かさとして捉えています。

Hヒズメットの参加者は、自らが設立した財団、社団、機関を通じた公式な活動と、宗教的な集いや社会活動などの非公式な活動の両方を通じて目標を追求します。

この公的な組織や機関は、所在国の法令に則り、その社会の透明性と監査可能性の規範を守りながら、ヒズメット運動の基本的価値観と合致し、運動全体と調和を図りつつ、現地の参加者の決定によって運営されることが最も重要です。

この調和を確保するために、コミュニケーション、意見交換、経験共有等のメカニズムを活用します。

この文書の作成に協力した組織・団体等

ALLIANCE FOR SHARED VALUES	アメリカ合衆国
STIFTUNG DIALOG UND BILDUNG	ドイツ
FEDACTIO	ベルギー
PLATFORM INS	オランダ
TURQUOISE HARMONY INSTITUTE	南アフリカ
CENTRO de DIÁLOGO INTERCULTURAL ALBA	アルゼンチン
INSTITUTO PELO DIÁLOGO INTERCULTURAL	ブラジル
DIALOGUE INSTITUTE OF AUSTRALIA	オーストラリア
NORTH AMERICA CIVIC PLATFORM	アメリカ合衆国
INTERCULTURAL DIALOG PLATFORM	ベルギー
ISTITUTO TEVERE	イタリア
DIALOGUE SOCIETY	イギリス
ASOCIATIA PENTRU DIALOG SI VALORI UNIVERSALE	ロマニア
FUNDACIÓN CATARATA	チリ
DEN NORSKE HIZMETBEVEGELSEN	ノルウェー
ARCO FORUM	スペイン